

京都ビッグデータ活用プラットフォーム 第4回会議 配布資料



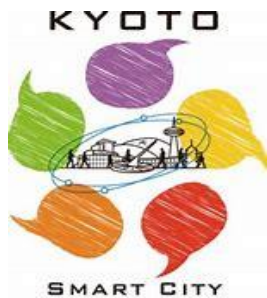
超快適スマート京都を目指して

一般社団法人京都スマートシティ推進協議会

京都を、スマートシティ実践・実用化の「先進地」に

京都スマートシティ推進協議会

I C T等の最新技術を用いて、都市地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便性や快適性を向上させるとともに、持続的に発展する新たな社会システムとイノベーションを創出し、**人が主役のスマートで安寧な社会の創出**を目指す。



京都の環境をスマートに
京都のつながりをスマートに
京都の産業をスマートに

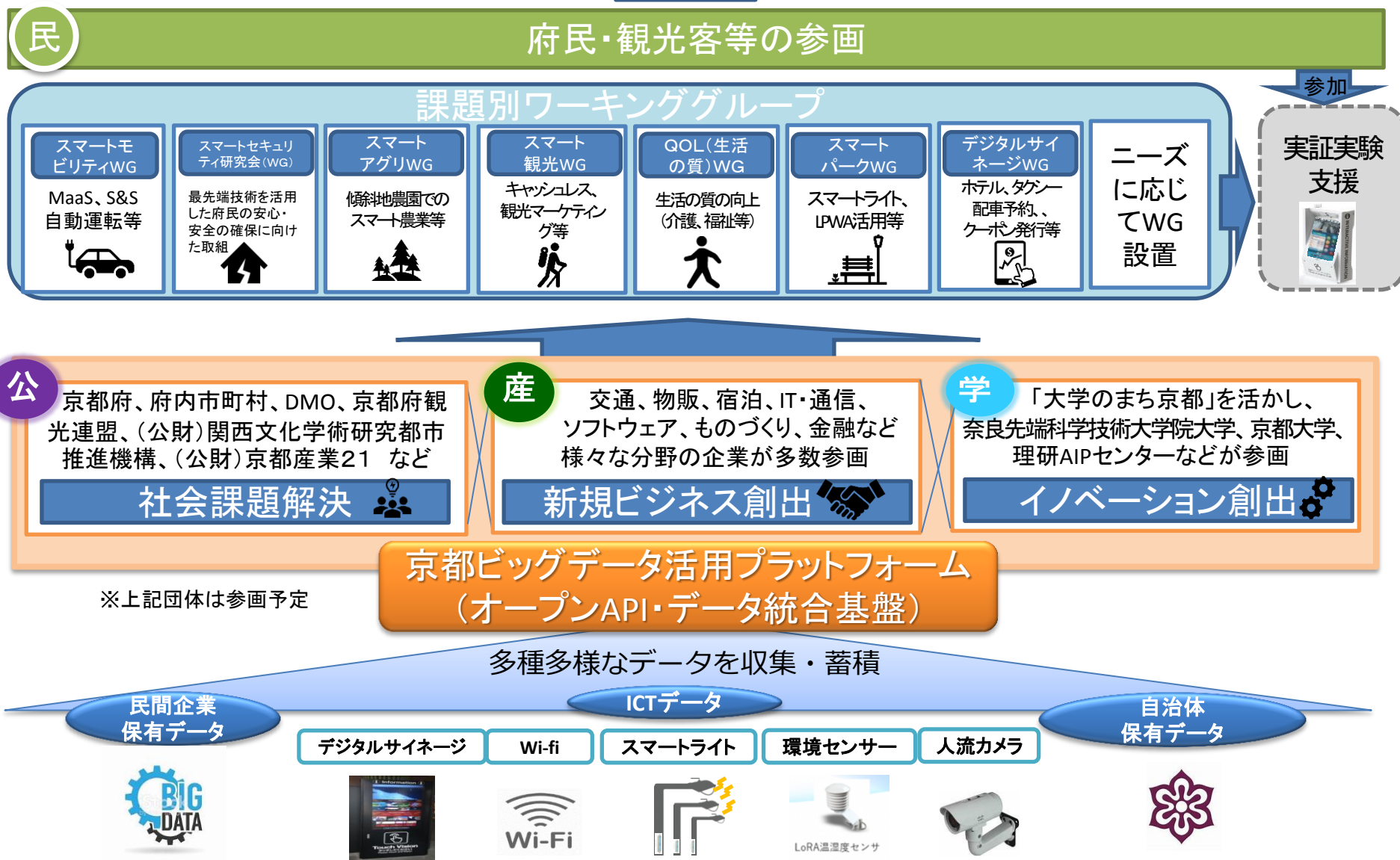
VISION



スマートシティ実現を目指す京都府、企業、大学・研究機関、府民をつなぐ
産学公民のオープンイノベーションプラットフォームになること

京都ビッグデータ活用プラットフォームのイメージ

人が主役のスマートで安寧な社会の創出



京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議の実績

第1回



平成30年11月9日（金）

民間企業：55企業100名

大学等：2大学8名

行政・研究機関：7団体9名

事務局：13名

合 計：64団体 130名

第2回



平成30年12月26日（水）

民間企業：67企業102名

大学等：4大学5名

行政・研究機関：18団体33名

事務局：20名

合 計：89団体 160名

第3回



平成31年3月4日（火）

民間企業：63企業93名

大学等：3大学3名

行政・研究機関：13団体27名

事務局：16名

合 計：79団体 139名

ご提供サービス

入会後は以下の6つのサービスをご提供します。

① 京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議への参加



産学公の多様なプレイヤーが集う京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議を開催し、スマートシティやIoT、ビッグデータに関する最新の情報をご提供します。各WGの取組のアップデートや新たな取組を共有します（年4回実施予定）

② 課題別ワーキンググループへの参加



多様化する社会課題や企業のニーズに応じて、ワーキンググループを発足します。ワーキンググループごとに勉強会等を実施し、具体的な成果に繋がります（ex.スマートアグリWG、スマートモビリティWG、スマート観光WG等）

③ ビジネスマッチング支援



会員企業様の新規事業紹介・交流の場をご提供します。10月開催の京都スマートシティエキスポにて、京都ビッグデータ活用プラットフォームオープンパートナプログラムを開催し、個別WGの成果発表を行い、ビジネスマッチングを支援します

④ デジタルサイネージ等を活用した実証実験支援



京都スマートシティ推進協議会が府域等に設置した10台のデジタルサイネージやスマートライト、LPWA等の公園スマート機器を活用した実証実験を支援します。その他、会員様が新たに実施したい実証実験の実現をお手伝いします

⑤ 補助金等獲得支援



会員企業様や各WGが実施するプロジェクトに対し、国や京都府等の補助金の獲得に向け、助言や担当部署の紹介、実証フィールドの提案等の申請サポートをします（※補助金獲得を約束するものではなく、あくまで審査は公平に行われます）

⑥ データ統合基盤の利用



京都スマートシティ推進協議会が所有するデータ統合基盤をご利用できます。会員企業間のデータ連携の支援やデータ利用環境（アカウント発行・管理）を提供します。データ分析するためのBIツールを別途有料でご提供します

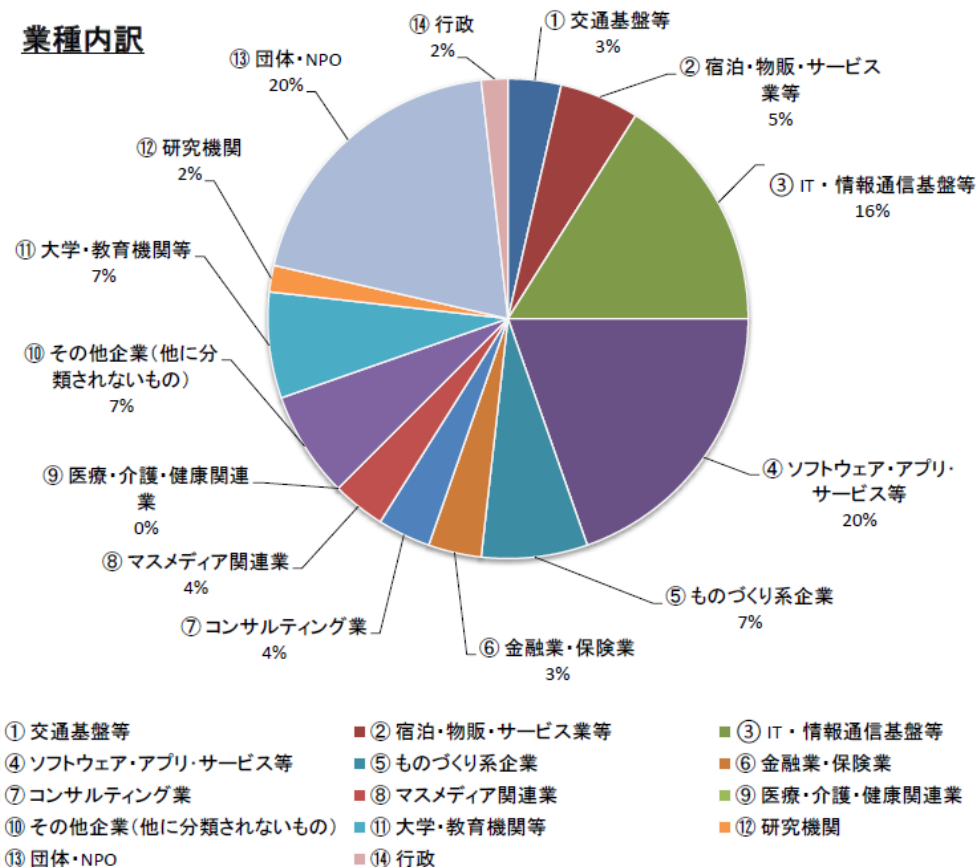
会費について

会員種別	年会費(税抜)	対象者	便益
正会員（大企業）	20万円	中小企業の定義は、中小企業基本法第2条第1項の中小企業者の範囲に従う	1. 京都ビックデータ活用プラットフォーム会議への参加 2. 課題別ワーキンググループへの参加 3. ビジネスマッチング支援 4. 補助金等獲得支援 5. デジタルサイネージ等を活用した実証実験支援 6. データ統合基盤の利用 (※基本利用料無料。BIツール等をオプション利用する場合は別途有料) 7. サイネージ広告を会員割引 価格でご提供
正会員（中小企業）	10万円		
正会員（小規模企業者）	3万円		
内、ベンチャー企業	1万円	開業後、3年以内	
特別会員	なし	行政機関・公共団体・非営利団体 等	

会員登録状況について (2019年7月4日時点)

区分	団体・会社名	業種
大企業20社	コニカミノルタ株式会社	⑤ ものづくり系企業
	PwCコンサルティング合同会社	⑦ コンサルティング業
	日本テレネット株式会社	③ IT・情報通信基盤等
	オムロンソーシアルソリューションズ ㈱	⑤ ものづくり系企業
	株式会社システムディ	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	株式会社システムディ	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	ウイングアーキ1st株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	京都信用金庫	⑥ 金融業・保険業
	阪急電機株式会社	① 交通基盤等
	ヤマハ株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	伊藤忠テクノソリューションズ㈱	③ IT・情報通信基盤等
	西日本電信電話株式会社京都支店	③ IT・情報通信基盤等
	日本電気株式会社	③ IT・情報通信基盤等
	ダッソー・システムズ株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	株式会社NTTドコモ	③ IT・情報通信基盤等
	イオン株式会社	② 宿泊・物販・サービス業等
	株式会社スイッチスマイル	③ IT・情報通信基盤等
	株式会社セールスフォース・ドットコム	③ IT・情報通信基盤等
	株式会社日本総合研究所	⑦ コンサルティング業
	京都中央信用金庫	⑥ 金融業・保険業
中小企業9社	エムケイ株式会社	① 交通基盤等
	株式会社CITY	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	株式会社新報社	⑧ マスメディア関連業
	株式会社DTS WEST	③ IT・情報通信基盤等
	株式会社京都スタジオ	② 宿泊・物販・サービス業等
	株式会社プラザホテルズ	② 宿泊・物販・サービス業等
	株式会社ジエイケイ京都	⑩ その他企業(他に分類されないもの)
	演出プレスエージェンシー株式会社	⑤ ものづくり系企業
	株式会社アッシュ	⑧ マスメディア関連業
	株式会社アッシュ	⑤ ものづくり系企業
小規模企業7社	株式会社Local24	③ IT・情報通信基盤等
	amaneku株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	株式会社Stroly	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	Time Age株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	Digital Business Council株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
	晶和クリエイション株式会社	⑩ その他企業(他に分類されないもの)
	デジタルコンテクノロジージャパン株式会社	④ ソフトウェア・アプリ・サービス等
ベンチャー2社	ガクシンFind	⑩ その他企業(他に分類されないもの)
	ガクシンFind	⑩ その他企業(他に分類されないもの)
特別会員18団体	大阪経済大学	⑪ 大学・教育機関等
	一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会	⑪ 大学・教育機関等
	国立研究開発法人 情報通信研究機構	⑫ 研究機関
	公益財団法人京都産業大学21	⑪ 大学・教育機関等
	京都大学新山研究室	⑪ 大学・教育機関等
	京丹後市	⑭ 行政
	SoundUD推進コンソーシアム	⑪ 大学・教育機関等
	播磨加藤造園園けいほん記念公園管理事務所	⑩ その他企業(他に分類されないもの)
	一般社団法人事故ゼロ・フォーラム	⑪ 大学・教育機関等
	特別非営利活動法人京都・地球みらい機構	⑪ 大学・教育機関等
	NPO法人 さらんネット	⑪ 大学・教育機関等
	社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会	⑪ 大学・教育機関等
	学校法人永守学園京都先端科学大学	⑪ 大学・教育機関等
	一般社団法人changes	⑪ 大学・教育機関等
	公益社団法人京都府観光連盟	⑪ 大学・教育機関等
	京都府茶業共同組合	⑪ 大学・教育機関等
	奈良先端科学技術大学院大学 知能コミュニケーション研究室	⑪ 大学・教育機関等
	公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構	⑪ 大学・教育機関等
	公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構	⑪ 大学・教育機関等
	公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構	⑪ 大学・教育機関等

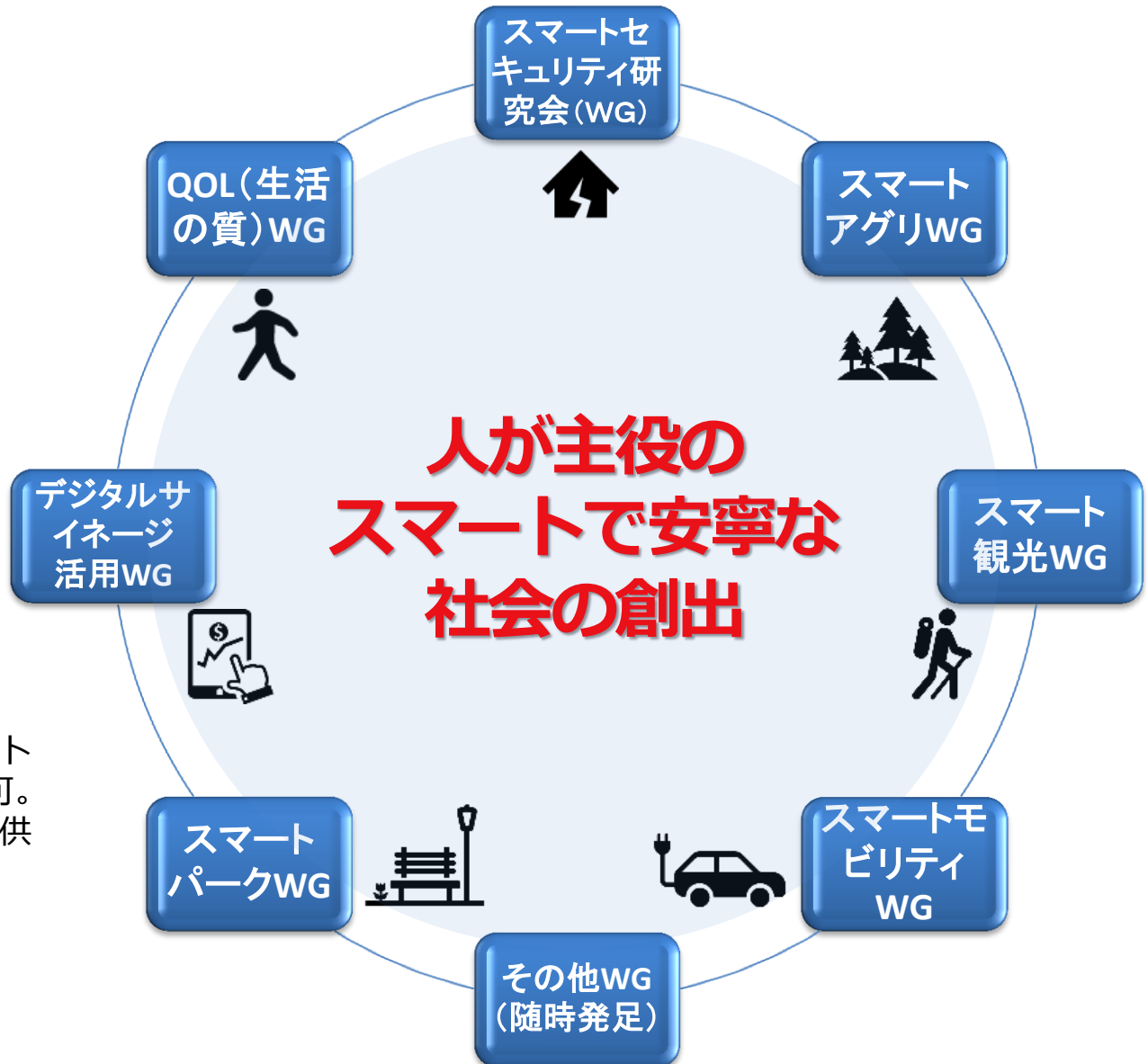
業種内訳



登録団体数 56

課題別ワーキンググループ設置

- 会員は興味関心のあるWGに参加可能（※複数可）
- WG内で様々なプロジェクトを立ち上げ可能
- 必要に応じて、実証実験や補助金獲得を支援
- 事業開発に向け、他企業や自治体、研究機関等とのアライアンス創出を支援
- 各WGの活動は、京都スマートシティエキスポ2019で報告可。ビジネスマッチング機会を提供



①デジタルサイネージ活用WG



<目指すところ>

府域等に設置するデジタルサイネージを活用し、観光客の利便性向上や観光周遊を促進する。また、地域住民に暮らしを豊かにするツールとして認識され、人が集い、交流するシンボリックな媒体として、新たな価値を検討する。

こんな課題を解決したい

- サイネージをもっと利用してほしい
- サイネージから得られるデータを使いたい
- サイネージで新しい技術やコンテンツを実証実験して、試してみたい

⋮

例えば、こんな取組を検討

- D-standプロジェクト
→サイネージを有効活用し、人が集い、交流を生み出す空間をコーディネート
(D-演奏、D-パフォーマンス、D-オープンキャンパス、D-体操、D-L I N E等)
- サイネージ×ビーコン
→サイネージとビーコン技術を連動させ、多様なデータ収集・分析及びマーケティングに活用
- サイネージ×タクシー/ホテル予約
→サイネージに予約システムを組み込み、タクシー/ホテルの利用率アップ

⋮

②スマートアグリWG



<目指すところ>

スマート農林水産業の実現を目指し、生産現場への先駆的なA I、I C T技術の導入による生産性及び品質・作業性の向上を図り、農林水産業の成長産業化を検討する。

こんな課題を解決したい

- 過疎高齢化による生産現場（農林水産）の労働力不足を解消したい
- トリガイを安定的かつ効率的に養殖したい
- イノシシ等の鳥獣被害を減らしたい
- 宇治茶の生産性を向上したい

⋮

例えば、こんな取組を検討

- 中山間地の水稻栽培における自動運転トラクターや栽培経営管理システムの導入
- 万願寺トウガラシの収穫量を向上するため、環境自動制御システムや収穫用サーモグラフィを導入し、ハウスを低コスト化
- 茶園環境データ、新芽の生育データ等を蓄積・解析することにより、茶園管理・製茶ノウハウを可視化し、茶生産技術を向上

⋮

③スマートモビリティWG

<目指すところ>

人口減少・高齢化が深刻化する中、地域住民に安心・安全・快適な交通環境を提供し、豊かで持続可能なモビリティ社会を実現するため、AIやICT等による新しいモビリティサービスを検討する。

こんな課題を解決したい

○けいはんな学研都市に多数立地する企業、研究施設間の移動をスムーズにしたい

○過疎地域や高齢者の交通問題を解決したい

○京都スタジアム（仮称）の竣工により、想定される交通渋滞や移動問題をなんとかしたい

⋮

例えば、こんな取組を検討

○高齢者等の社会参加を促し、次世代の実装となる自動運転等の実証を行い、スマートな暮らしを実現する、「学研都市型MaaS+」を推進

○京都丹後鉄道沿線地域での地方郊外型MaaS事業におけるQRシステム導入実証

○南山城村における村営バスの再編、自家用有償運送等の導入により交通網を整備する等、過疎地型MaaSを実証

○京都スタジアムに訪れる2万人規模の来場者の心地よい移動サービスを検討

⋮

④スマート観光WG

<目指すところ>

観光産業・サービス産業の活性化と高度化を図り、スマート観光のモデルづくりを目指すため、ICTによる観光客の利便性の向上や周遊観光促進、新たな視点からの観光マーケティング・商品開発等を検討する。

こんな課題を解決したい

- 一極に集中する観光客を分散させ、府域に周遊させたい
- 観光客の行動を分析し、お勧めの観光ルートや商品を提案したい
- まだ京都府に来ていないターゲット層の心を動かすマーケティングをしたい

⋮

例えば、こんな取組を検討

- AR技術を活用した府域のスタンプラリー観光
- 地域商店街と連携し、キャッシュレス普及促進
- インバウンドにターゲットを絞り、旅行滞在データ（基地局）やSNSデータの分析から訴求スポット・モデルコースを提示

⋮

⑤スマートパークWG

<目指すところ>

多様化する公園利用者のニーズに対応し、地域とつながる魅力ある公園の在り方を模索するとともに、公園管理者の負担を軽減するため、I C T等を活用したパークマネジメントや公共財の分散型管理を検討する。

こんな課題を解決したい

- 公園管理による職員の負担を軽減したい、管理業務を効率化したい
- 公園の資源（薪、木質ペレット）を有効活用し、エネルギー効率を上げたい
- 地域住民が公園を身近なものと感じ、人が交流する共通空間（パークマネジメント）を実現したい

⋮

例えば、こんな取組を検討

- スマートライトによるL E D化及び調光管理によるエネルギー消費量の削減
- ネットワーク防犯カメラ（人流解析）により、公園の安心・安全を実現
- L P W Aを活用した園内案内ロボットの導入

⋮

⑥ Q O L （生活の質） W G

<目指すところ>

超高齢化社会や生き方の多様化が加速する中、人々にとって安寧で心豊かな暮らしの実現を目指し、医療・介護・福祉・働く環境等において、柔軟な視点で新しい事業やサービスの開発を検討する。

こんな課題を解決したい

- すべての高齢者にとって、自分らしく過ごせる心豊かなまちを作りたい
- 乳幼児期のアレルギーマーチを止めたい
- ストレスフルな職場環境を改善し、誰もがイキイキ働ける職場にしたい
- 聴覚障害のある方のコミュニケーションの課題を解消し、豊かな暮らしを実現したい

⋮

例えば、こんな取組を検討

- 持続可能で心豊かな新しい地域包括ケアシステムの事業開発
- スキンケア化粧品を用いたアレルギーゼロプロジェクト
- 中小企業の職場環境を改善し、職場へのエンゲージメントを高める「キモチ×カラダ×データヘルスプロジェクト」
- デジタルサイネージを活用した遠隔手話通訳

⋮

今後のスケジュールについて

<2019年7月8日>

第4回KBDP会議
(WG説明、今後の進
め方共有)

<2019年10月3日or4日>

京都スマートシティエキスポ
2019KBDPオープンパート
ナープログラム

<2019年3月>

第7回KBDP会議
(成果報告等)

<2019年9月>

第5回KBDP会議

<2019年12月>

第6回KBDP会議

WG活動

WG
アンケート
期限
(7月22日)

WG活動実施(7月~3月)

適宜、他WGへの参加も可能
(随時エントリー)